

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp
Eメール info@jaichi.jp
TEL <052> 916-2251
FAX <052> 916-2308

2008.10.10 No.972

発行責任者 梅野敏基 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

なくそう「貧困と格差」・秋年闘争勝利 10・31全県労働者決起集会

とき 10月31日(金) 午後6時30分
ところ 名古屋市・若宮広場
すべての職場から要求もちより参加しよう

会場をつめつくす全国の青年たち



若者の低賃金と日雇い派遣など「使い捨て」雇用の広がり、違法があたりまえのようにはびこる職場。10月5日、東京・明治公園に「人間らしくはたらきたい」と全国青年大集会実行委員会の呼びかけで、4600人の青年が全国から集まりました。



上・各団体からのたたかいの報告
中・集会前の交流企画
下・パレードのようす

”人間らしく働きたい” ●全国青年大集会 4600人●

集会では、「徳島の日雇化学」に正社員化を求めたたかう青年が、「労働者派遣法を抜本改正し、労働者

を保護する真の派遣法が必要だ。力の続く限り、がんばる」と訴えました。その後全労連大黒議長

全国青年大集会実行委員会が独自で調査した「日雇

は「いろんな働き方で困っている人がいる。少しでも役に立てようがんばりたい」と話してくれました。その後集会アピールを採

択し、アピールウォークをしました。

が、「近く予想される総選挙では、1999年の派遣法自由化に賛成した政党に痛打を与えよう」と訴えました。反貧困ネットワークの湯浅事務局長は、「貧困は自己責任ではない。私たちは、会社に労働基準法を守らせる、社会保障を充実させる、憲法を守る責任を負っている」と強調。リレートークでは、首都圏の土建青年部が「我慢も努力も限界だ!」、首都圏青年ユニオンから「美容室アッシュユ」や、牛井チェーン「すき家」で、残業代の支払いを求めてたたかう訴えや、日雇い派遣の女性の訴えに熱い拍手がおくられました。愛知から参加した名古屋市職労の原田直己さ

い派遣調査」には、16社、113種類の現場が回答。時給は平均で917円、日給は7357円。交通費も全額支給が1/3しかなく、低賃金に拍車をかけています。「危険な作業をやらされた」7件、「罵倒されたり、どなられた」18件など、人間をもの扱いし、人間性を踏みしめる働かせ方が目立っていると告発しています。

解散・総選挙が必至の中、住民と自治体労働者の生活を守る政治の実現と、秋年闘争の前進にむけ、10月3日、県本部第1回中央委員会が開催されました。会議では、なくそう「貧困と格差、生かそう憲法をくらしと仕事に」をテーマとし、職場・地域から要求と政治を語り、運動を広げようと話し合われました。

た賃金改善を求める、②「見直そう、問い直そう、住民の安全・安心」の運動をすべての職場、単組、5000人の非正規職員との対話を具体的などりくみとしては、「誰でも50才で40万円の賃金」をめざす。そのために、すべての年齢・勤続年数におけるラスパイレス100を追求する。賃下げなしで勤務時間の短縮で、1時間の休憩時間の確保、通勤手当の増額などをめざす。組織拡大では、非正規労働者の処遇改善と組織拡大に全力をあげる。特に人前で示された給与改善のガイドラインなど活用し、5000人の仲間との対話をとりくむなどが提起されました。

組合加入キャンペーン標語
「笑顔の下、仲間で集まるよう組合に」
もとみんな
小坂井町職労・伊藤義浩さん

10・15 現自治労連業 全国統一行動!



加盟承認された名古屋市職労に組合旗が贈呈されました

なくそう貧困と格差、 生かそう憲法をくらしと仕事に 県本部第1回中央委員会

づくりをすすめる、④「新テロ特措法延長法案」など許さず、「憲法を仕事とくらしに生かす政治の実現」を職場・地域で広げる、⑤すべての職場で学習と討議をすすめる、要求を練り上げる、⑥年間2000名の組合員拡大を目標に、秋の月間で5000人の仲間を増やす、の6つの中心課題が提起されました。

官製ワーキングプアをなくせ

公契約条例制定にむけ学習会

国や自治体が発注する事業に従事する、労働者の賃金・労働条件を保障させようと、公契約条例の制定運



動が全国で強められていま
す。9月28日、愛労連はこの運動の前進をめざした学習会を愛知県本部で開催し、45人が参加しました。
愛労連の羽根議長は、「公契約という言葉を知らない自治体が多かったが、この間のキャラバンで自治体が入札制度の改善を検討し始めている。自治体がワーキングプアを作り出さないためには、公契約条例の制定が必要」とあいさつしまし

た。
その後、全労連の伊藤調査局長が「公契約運動で適正な契約と労働条件の確立を」のテーマで講演。「つくられた財政難により、公共サービスを民間委託し、落札金額の低下で委託された労働者の貧困が拡大している」と、官製ワーキングプアの実態を告発し、他都市の事例を紹介しました。そして、5月までに35都道府県、623自治体で公契

約関連の議会決議が実現したと、運動の到達点を明らかにしました。また、職場からは、名古屋市環境事業局における「ゴミ・資源収集事業」の民営化問題が報告されました。

愛労連から、4月の自治体キャラバンでの公契約に関する自治体の考えを紹介し、公契約条例の制定に向けて「自治体との懇談を進める」「入札制度の改善で現行制度でも改善させる」ことが提起されました。

弱いものいじめの市政はノー!

「革新市政の会」要求交流集会

来月4月の名古屋市長選挙の前に9月23日、中区役所ホールで「革新市政の会」交流集会「要求満載・実りの秋」が開かれました。400人以上が参加し、職場から地域から、23組の要求発言が出されました。「革新市政の会」は弱い者いじめの市政を変えよう

と、①福祉・医療を充実させる②貧困をなくす③地球に優しい環境をつくる④子どもに明るい未来をつくるの4つの転換を訴えました。これに沿って要求が出され、「後期高齢者医療制度は廃止して」「保育や福祉を削らないで」など、発言が出されました。



会場からたくさんの要求が出された

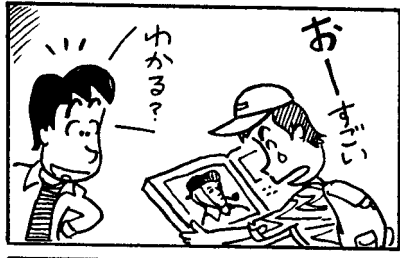
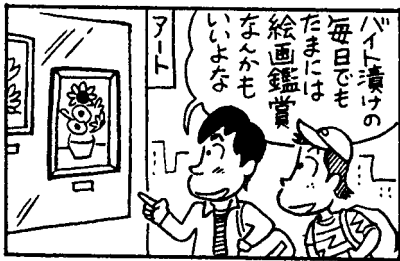
基地機能の強化反対 県民本位の県営空港に 第12回小牧平和集会



「基地被害をなくせ、基地機能強化するな」の声が高まる中、9月28日春日井市で、「第12回小牧平和県民集会」が開催され、500人が参加しました。「自衛隊イラク派兵差し止め訴訟の会」の池住義憲代表は「今年4月に名古屋高裁の自衛隊イラク派兵違憲との判決がだされ、平和的生存権の具体的権利性が認められた」と報告。高校生平和ゼミナールの参加者からは、「自衛隊員が、アメリカの手助けをして多くのイラク人を傷つけていると思うと胸が痛くなる。こ

の事実をおおくのひとに知らせたい」と発言しました。その後、集会宣言を採択し、小牧基地までパレードしました。

「言いたい劇場」 小昔りや子



もうすぐ
自治労連共済の還元金が
支払われます

日帰りバス旅行・
パンダと中華
犬山市職労
9月23日犬山市職労は「日帰りバス旅行」を行い、79人で神戸中華街の散策と市立王子動物園へ行きました。動物園のメインはパンダで、入園し



感激。家族での参加も多く好評でした。

ソフトボール大会
愛労連青年協
港職労チームが優勝!
9月27日、豊明市・勅使グラウンドで、「愛労連青年協ソフトボール大会」が行われ、7チーム・100人が参加し、熱戦が繰り広げられました。自治労連からは名水労(2チーム)・港職労・中水労が参加し、みごと



港職労チームが優勝しました。

職場・地域から・アラカルト

単組定期大会 役員紹介

犬山市職労(9月17日)	執行委員長 森川 圭二	副委員長 林 達也	書記長 一柳 佳馨	書記次長 小島 千枝	書記長 石黒 貴之	書記次長 吉田 高弘	書記長 後藤 泰介
新城市職労(9月26日)	執行委員長 中村やよい	副委員長 中野みさ子	書記長 岡田みつ子	書記次長 浅尾 洋平	書記長 遠藤 勇	書記次長 上四元直樹	書記長 水野 貴洋
武豊町職労(9月26日)	執行委員長 森田 正樹	副委員長 鬼頭 研次	書記長 荒井 修	書記次長 荒井 修	執行委員長 柳 進	副委員長 渡辺 利雄	書記長 森 清隆
半田市職(9月30日)	執行委員長 熊谷 弘	副委員長 村田 尚巳	書記長 鈴木 孝雄	書記次長 畑中 邦彦	執行委員長 平山 勝子	副委員長 柳 進	書記長 森 清隆
知立市職労(9月24日)	執行委員長 杉浦 彰治	副委員長 吉岡 正憲	書記長 成瀬 達美	書記次長 長谷 隆治	執行委員長 山本 茂樹	副委員長 藪田 芳秀	書記長 大澤 正
幸田町職労(9月24日)	執行委員長 山本 茂樹	副委員長 藪田 芳秀	書記長 大澤 正	書記次長 伊澤 正美	執行委員長 下山 泰彦	副委員長 梅野 泉	書記長 加藤 徹
瀬戸市職労(9月18日)	執行委員長 梅野 泉	副委員長 加藤 徹	書記長 近藤 隆儀	書記次長 遠藤 勇	執行委員長 山下 泰彦	副委員長 梅野 泉	書記長 加藤 徹
一宮市労組(9月22日)	執行委員長 平山 勝子	副委員長 柳 進	書記長 渡辺 利雄	書記次長 森 清隆	執行委員長 梅野 泉	副委員長 加藤 徹	書記長 近藤 隆儀